

幕末の田野口藩 ～田野口藩陣屋日記～

陣屋で書き留められたエピソードから、幕末日本の歴史が見えてきます。と題して前望月歴史民俗資料館館長の上原美次先生から講義をいただきました。

田野口藩主である松平乗謨は、1863年「やがては老中に昇進し、城持ち大名の格を許されるだろう」。西洋の軍事通として一目置かれ「一国一城令」の例外的扱いで、洋式の五稜郭建設が認められる。龍岡は藩主幼少時の雅号建設地の字名「奇遇」との記述がある。講義の中から、田野口藩の歴史と日本の歴史のつながりが見えてきました。

明治2年大給恒と改名博愛社副総裁、章勳局総裁を歴任している。

